



畑の面積: 8 ha

ブドウの年齢: 35 years old

平均年間生産量: 20 000 bottles

ブドウの種類: Pinot Noir

ブドウの木の場所

オート＝コート（丘の上方）のぶどう畑は、他と同様、1885～1900年にかけてフランス全土を襲ったフィロクセラ禍によって全滅した。コート（丘の中腹から麓にかけて）はその後直ぐに植えかえられたが、オート＝コートは1970年代になるまで復活しなかった。私の父、ジャン・グロはこのワインを復活させた先駆者の一人である。

オート＝コートの私たちの畑はアルスナン村にある。この村はムザン川の渓谷の奥にあり、ニュー・サン・ジョルジュから西に7km行ったところである。畑は南東向きの斜面にあって、標高は360～420mである。つまりコートの畑に比べて約100m高い。この標高差によって、収穫は約8日間遅くなる。

ぶどうの木は、夫々の列の間に2,6mの幅をとって植えられている。また、棚の高さは1,8mに設定している。この方法だと、等高線のカーブに沿わせることができるし、列毎に小さな段状にすることが可能になる。各列の間には芝生を植え、剪定はコルドン・ピラテラル（T字形）式を採用している。

オート＝コートの表土と下層土は3つの地層を含んでおり、標高がここより100m低いコート・ド・ボヌのアロース＝コルトンに見られる地層と全く同じ構成となっている。つまりこの事から、このワインが力強く男性的な特徴をもっていて、長熟性に非常に富むということが理解できる。

ワインの醸造

これらのワインは最初の6ヶ月間、オークの大樽の中に入れ、ジャン・グロの住まいの地下にある非常に古いセラーの中で寝かせる。

その後12ヶ月間、1~3種類のワインに使われていた樽に移して熟成を継続する。ワンランク上級のワインを熟成していた樽を使用するため、前に入っていたワインのアロマが少し加わり、これらのキュベに複雑な味わいが育まれる。

